



那覇市立 神原中学校



神中だより 第4号



令和 3年 10月13日



「1学期を振り返ってみると」 (学校長あいさつ)

長かった「緊急事態宣言」から解放され、短い期間ではありましたが、子どもたちの様々な活動が凝縮された1学期が終了しました。2学期には、さらなる飛躍を期待します。



1学期終業式の校長講話

今年度の1学期も、5月から新型コロナウイルス感染の拡大に伴い、緊急事態宣言の出された中で活動が多くなりました。しかし、昨年度は、できなかった遠足や家庭訪問、そして3年生の修学旅行は、制限付きではありましたが対策を取りながら無事実施することができ、地区中体連の大会やコンクール等へも様々な対応で参加することができました。

この限られた状況の中でも神原中学校の生徒の活躍も数多くあり、県陸上や地区中体連、吹奏楽コンクール、英語や漢字、数学などの各種検定、朝の清掃やあいさつ運動、地域のボランティア活動、部活動、生徒会活動、学級・学年の取り組みなど、ひとり一人の成長が見られる場面がたくさんありました。

また、1学期の後半は、オンライン授業から分散登校から一斉登校に向けても、一人ひとりが先生方の話をしっかり聞きながら、仲間と協力しながら、一生懸命取り組んできました。そして今は、部活動も再開し、友達や仲間との充実した日常が戻りつつあります。皆さん一人ひとりが、これまでに無いくらい学校で過ごせる1日1日がとても貴重な瞬間だったということを実感でき、一生忘れることのできない学校生活の思い出となることでしょう。

明日から3年生は午前の授業がありますが、1・2年生は短い秋休みが始まります。これまでの学校で勉強したことの復習や宿題、そして読書などに励むとともに、有意義な休みを過ごしてください。

この時期は、日が暮れるのも早くなり、交通事故、不審者等が増える時期でもあります。自分自身で、危険を回避するための判断が必要になります。落ち着いて行動する事が心がけましょう。

休み明けには、ここにいる神原中学校の生徒全員が心も体も健康で元気よく、明るい笑顔で会えることを楽しみにしています。それでは、明日から、充実した秋休みにしてください。





「軌跡」
花は季節を忘れない
國吉清 2021



本校のシンボルツリー トックリキワタの開花はじまる!!

正面玄関近くの木には、本校のシンボルツリーのトックリキワタの木に多くの鮮やかなピンクの花や丸い小さなつぼみが見られ、この時期を待っていたかのように咲き出しました。

トックリキワタの花はこれからが見頃で、10月から11月の前半にかけて、次々と花を咲かせていきます。お近くへお越しの際は、是非ご覧ください。コロナ禍で疲れた心を癒やしてくれます。

感染対策の協力に対する校長からのお礼

本県における感染状況の悪化に伴い、保護者への感染症対策への協力もお願いしておりましたが、県内の新規感染者も減少し、緊急事態宣言も解除され、第5波は、収束傾向にあると報道されております。

本校においても保護者の皆さまの家庭における感染対策や情報提供などのご協力のおかげで、学校内の感染も無く、学校PCR検査の実施もありませんでした。現在は、通常の教育活動にもどつつつあり、部活動、生徒会活動等も再開し、生徒の元気な様子が多く見られるようになってきました。学校での様々な活動が当たり前にできることがこんなに素晴らしいことだということを生徒も教職員も実感しております。保護者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

今後も感染症対策では、気を緩める事は出来ませんが、大きな危機は、乗り越えることができましたことをご報告いたします。



感謝

コロナ禍の今こそ 率先して「あいさつ」すべき

おはようござ
います! (^o^)



新型コロナウイルス感染症の流行に伴って学校生活においてもマスクを付けることがが日常化し、声を出して「あいさつ」を交わす機会が減少し、その大切さを忘れてしまっているのではないかと心配です。

学校で誰もが互いに心を開き、存在を認めていることを示す気持ちの良いあいさつは、人と人の心をつなぎ、互いを尊重することにも繋がります。それは、人と会ったら必ず元気づく挨拶をすることを強制することではありません。

神原中学校の生徒の多くは、相手が同級生や先輩・後輩、教師であっても、人と時と場合に応じて自然な空気感を身に付けて、適切なあいさつが上手だとよく言われます。

学校では、教師が生徒に対して、進んで挨拶をすることをお願いしています。それは、生徒が安心して学校に通えるように「安心していいですよ。心を開いて、あなたの存在を認めていますよ」ということを積極的に示す必要があるからです。

10月に入り、部活動が再開され、学校の花壇で耕運機で作業しているときに、本校の部活動の集団が歩道を走りながら全員で、作業している私に「こんにちは」「お疲れ様です」とあいさつしてくれました。思わず私も「こんにちは」「頑張ってる」「部活再開してよかったね」などと笑顔で応えました。コロナ禍で疲れて、ストレスをため元気がない生徒がいるのではないかと心配していましたが、その日は、すがすがしい気分で作業する事が出来ました。

神原中学校の生徒たちに、一日の始まりを気持ちよく迎えてもらうために、そして「校長先生は、心を開いて、あなたの存在を認めていますよ」ということを伝えるために、これからも朝の登校時や休憩時間、部活動のときなどに挨拶をしていこうと考えています。